

〈幼保小連携〉

育ちと学びをつなごう

～安心して学校生活をスタートさせるために～

学校教育課通信

令和6年4月12日（金） 第199号

編集・発行：県南教育事務所長 橋本 美弥子

桜の花が咲き始め、期待に胸をふくらませて小学1年生が入学してきたことと思います。希望や期待と共に、新しいスタートには少しの緊張や不安はつきものです。特に1年生は、幼児教育から小学校教育への移行に伴う環境の変化に戸惑うことがあるかもしれません。そこで、重要なのは幼児教育との段差をできるだけ小さくすることです。円滑な接続を目指し、生活科を中心としたスタートカリキュラムによって、1年生が学校生活に慣れ、自分らしさを発揮しながら安心して過ごせるような環境をつくっていきましょう。

○安心してスタートできる環境づくりと教師のかかわり

《園での環境づくり》

- 遊びを中心として、頭も心も体も動かして、主体的に、様々な対象と直接かかわりながら、総合的に学べるようにしています。
- 自分から興味をもって環境にかかわり、試行錯誤したり、考えたりできるようにしています。

《園での教師のかかわり》

- 教師は、子どもが工夫したり、助け合ったりする機会が生まれるように、すべてを手伝うのか、ヒントを与えるのか、自分たちで解決できるまで見守るのかなどを考えてかかわっています。

幼児教育を小学校教育につなぐ

子どもたちがあれこれ試しながら、主体的に取り組める環境づくりと弾力的な時間の設定

児童の思いや願いの実現に向けた活動を大切にする

朝の時間に音楽活動や読み聞かせなど、幼稚園で慣れ親しんだ活動を取り入れる

自分で考え、判断し行動することを繰り返し、主体的に学習できるようにする

生活科を中心としたスタートカリキュラムによる合科的、関連的な学習で総合的に学ぶ場をつくる

児童の気付きや感動に共感する姿勢をもつ

○他にも、以下のような工夫が幼保小の円滑な接続につながります。

- ・ 生活の流れが見通せる掲示
- ・ 視覚的に訴える板書
- ・ きまりが視覚的にわかる工夫
- ・ 子どもたちが集まって活動できる工夫
- ・ 学びの足跡の掲示による学習のきっかけづくり など

参考：「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き(初版)」

大事なスタートだからこそ、幼稚園の先生と気軽に情報交換を行って、幼保小の円滑な接続に向けて取り組んでいきましょう。



○子どもの姿を見取り、育ちと学びをつなぐ

生きる力の
基礎を育む
幼児教育

知識及び技能の
基礎

思考力、判断力、
表現力等の基礎

学びに向かう力、
人間性など

幼稚園では、育成すべき資質・能力の基礎を、遊びを通して一体的に育んでいきます。その過程で資質・能力が育まれた幼児の姿が「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」です。下の表は幼稚園教育要領に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について簡潔に示したものです。幼児教育ではこれらの姿を念頭に置いて、幼児理解のもと、環境構成の工夫、教師のかかわりを日々振り返り、改善しながら保育にあたっています。幼児教育を通して、子どもたちは資質・能力の基礎を身に付けてきており、ゼロからのスタートではありません。小学校においては、1年生が幼児期に育んだ力を生かしながら生活できるように、全教職員で見守り、育てていきましょう。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

(1) 健康な心と体	自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
(2) 自立心	自分の力でやり遂げる体験などを通じて自信をもって行動するようになる。
(3) 協同性	友達と一緒に目的の実現に向けて考えたり協力したりするようになる。
(4) 道徳性・規範意識の芽生え	よいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守るようになる。
(5) 社会生活との関わり	家族を大切にしたり、身近な人と触れ合っ地域に親しみをもったりするようになる。遊びや生活に必要な情報を役立てて活動したり、公共施設を利用して、社会とのつながりを意識したりするようになる。
(6) 思考力の芽生え	身近な事象から物の性質などを感じ取ったり、予想したりして、多様な関わりを楽しむようになる。
(7) 自然との関わり・生命尊重	自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。生命の不思議さなどに気付き、動植物を大切にするようになる。
(8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しんで、興味や関心、感覚をもつようになる。
(9) 言葉による伝え合い	経験したことなどを言葉で伝えたり、話を聞いたりして、伝え合いを楽しむようになる。
(10) 豊かな感性と表現	心を動かす出来事などに触れ、感じたことを表現して、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

「一人一人のよさを未来へつなぐ」文部科学省 を基に作成

幼稚園や小学校の互いの授業を参観したり、幼稚園の先生方と合同の研修会を行ったりする機会があると思います。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりにしながら、子どもの姿を見取り、互いの教育内容や方法について共有していきましょう。

